

そろばんを通じて 子どもの健全な育成を



龍野珠算協会

所在地 たつの市龍野町富永702-1
理事長 山本 哲也（教場：太市珠算会）
TEL 0791-63-4141

○協会設立の経緯は

昭和三十四年にたつの市を中心とした地域で珠算教室を開いていた先生方がそろばんの普及と珠算競技大会の開催、珠算指導者の育成を目標に発足しました。

昭和三十五年に兵庫県珠算連盟に加入し、協会員は現在十三名となっています。

○現在の状況は

生徒数の減少が顕著な時期もありましたが、近年児童の学力低下がいわれ珠算教育の効果が見直されたからでしょうか、そろばんを習う子どもが増えました。

以前は小学校三年生から始める子が多かったのですが、この頃は五歳くらいから通いに来てくれる

子もいて年々そろばんを始める年齢が低くなっています。

しかし早く始めた分、早く辞めてしまう子が多く、複数の塾に通うため続かなかったりして検定試験四〜九級の受験者が減少しています。

また、中学校に入学すると部活等で忙しくなり辞めてしまう子も少なくありません。今の状況が続くと今後上級・段位受験者の減少も予測されます。

何か一つ続けていくことは単純に一つの技術だけに秀でるということではありません。そろばんは計算力だけでなく発想力、自信、協調性、そして逆境に負けない根気を身に付けることに効果があります。集中することに慣れてくると自然に落ち着きが備わり、勉強に対する姿勢もよくなります。

子どもたちにそろばんを身近に感じてもらうため、小学校で三年生を対象にそろばん教室を授業の一環として行っています。「継続は力なり」をモットーにそろばん学習だけでなく、挨拶・生活習慣の大切さ等も教えています。

○これからは

最近是指導者の高齢化、後継者不足により協会員も年々減っておりますが、子ども達に「そろばんを学んでよかった」と言ってもらえるよう楽しく続けられる授業を行っていきます。小学校での出張授業もより増やし、そろばんの普及に努めたいと考えています。それが次の指導者を育てるためにも繋がると思っております。

使わなくなったそろばんを集めてアジア圏の国に寄付する活動も行っています。もしそのようなそろばんがありましたら協会までお持ちください。



教室の風景